

2022年1月24日
記者発表資料
環境資源部環境政策課 課長 宮坂
電話 042-724-4386

環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」を宣言 2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを目指します

2021年に開催されたCOP26では、世界平均気温の上昇を産業革命以前から1.5°C以内に抑えるという目標について、世界的な喫緊課題として取り組んでいくことが再確認されました。我が国においても、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルを目指し、2030年度における温室効果ガスの削減目標を、2013年度比で46%減としています。

市としても、脱炭素を様々な環境課題解決のための柱として捉え、市内の温室効果ガス排出量を2030年までに99万8千t-CO₂に削減し（2013年度/148万9千t-CO₂）、2050年までには温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す、環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」に向けて取り組むことを宣言します。

■ 宣言名称

町田市 ゼロカーボンシティ宣言

■ 宣言日

2022年1月24日（月）

■ 宣言に基づき行われる主な取り組み

- ・ 町田市バイオエネルギーセンターにおける発電電力の地産地消
- ・ 市有施設等における太陽光発電等による再生可能エネルギーの利用拡大
- ・ 電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）の積極的な導入及び活用
- ・ 民間企業等との連携・協定関係強化による市域のブランド力向上
- ・ 将来を担う子どもたちに対する、環境配慮意識の醸成に資する教育機会の創出

町田市 ゼロカーボンシティ宣言

2021年に開催されたCOP26では、世界平均気温の上昇を産業革命以前から1.5℃以内に抑えるという目標について、世界的な喫緊課題として取り組んでいくことが再確認されました。我が国においても、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルを目指し、2030年度における温室効果ガスの削減目標を、2013年度比で46%減としています。

町田市としても、脱炭素社会の実現に向け、町田市バイオエネルギーセンターにおける廃棄物バイオマス発電や、市有施設等での太陽光発電等による再生可能エネルギーの利用拡大とその地産地消、また、電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）の積極的な導入と非常用電源等による多面的な活用等を推進し、温室効果ガスの削減を進めていきます。

また、脱炭素を様々な環境課題解決のための柱として捉え、市民・事業者・市それぞれが共に手を取り合い、市内の温室効果ガス排出量を2030年までに99万8千t-co₂に削減し（2013年度／148万9千t-co₂）、2050年までには温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す、環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」に向けて取り組むことを宣言いたします。

2022年 1月24日

町田市長 石阪丈一